



## 第6回：連合群馬（日本労働組合総連合会群馬県連合会）

### 時代の課題にあわせた取り組みと“マイナーチェンジ”を大切に — サニードライブ、「愛のカンパ」審査基準の緩和など

事務局長 磯田 孝友 氏

副事務局長 吉田 香苗 氏

#### 1. 「社会連帯活動」の位置づけと内容

— 連合群馬の方針において、社会連帯の取り組みをどのように位置づけていらっしゃるでしょうか。

【磯田】連合群馬では、基本的に連合本部の方針に沿った活動を推進しています。なかでも社会貢献活動については、労働組合の重要な役割であるという認識を持ち、活動をつうじて組織の力を高めることを目指しています。

活動の体制については、専門の委員会として連帯活動委員会を設置しています。委員は構成組織や地域協議会から選出しており、この委員会で平和や人権、ボランティアなど年間の活動予定を企画・検討しています。

特に人権に関する取り組みでは、群馬県は狭山事件が起こった隣県であることから、部落解放群馬県民共闘会議のメンバーとして、被部落差別を知る活動や、人権にかかわる学習会の企画にも携わっており、積極的に取り組んでいます。

#### 2. 具体的な取り組み

— 「社会連帯活動」について、具体的にどのような取り組みをされていますか。

##### （1）連合群馬独自の「愛のカンパ」

【磯田】連合本部で推進している「愛のカンパ」活動は、多くの地方連合会でも取り組まれている一方、連合本部が定める応募資格や要件をクリアできないなど、団体にとっては若干ハードルが高い場合もあることから、連合群馬では独自の基準を設けて運用しています。

— 具体的にどのような違いがあるのでしょうか？

【吉田】連合本部の資格要件では、1団体で行政から受けている公的支援が3分の2を超えていると支援の対象外になることがあります。連合群馬では、県内の社会貢献団体を各地域協議会から推薦・申請してもらい、連合群馬内で審査したうえで、事業の一部を補助するかたちで運用しています。1団体につき最大3回まで

の上限はあるものの、この取り組みを始めた2007年以降で、27団体に延べ77回、総額では1000万円近くの助成金を寄付しました。

「一団体ではなく「事業にたいする補助」という考え方なのですね。

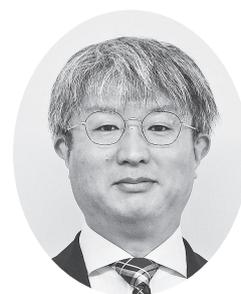
【磯田】 はい。たとえば、使っているパソコンが古くなったので買い換えたいといった場合も助成することができます。本当に困っている団体に適切な支援をおこなっていくようにしています。

「一組合役員や、助成した団体からの反応・受け止めについてはいかがでしょうか。

【磯田】 組合役員からは良い活動ができていると好評です。一方で、どこの団体にどのくらい寄付しているか、活動をもっと見せてほしいといった声も聞かれます。組合活動を組合員に伝えることについては単組でも悩んでいる話を聞きますが、連合の活動となるとより難しさを感じています。地方連合会でも、いかに組合員を巻き込めるかということが課題だと思います。

【吉田】 これまではその年度で助成した団体には連合群馬に来ていただいて助成金を贈呈していました。しかし現在は、推薦してもらった地協の役員と連合群馬が各団体の状況を知ることが重要だと考え、実際にその団体を訪問して贈呈式をおこなっています。これは磯田事務局長の発案で、マイナーチェンジといいますか、少しずつ活動のやり方を変えていっています。一緒に行った地協の役員の方とも団体の方に喜んでもらえて嬉しいとよく話しています。

【磯田】 こちらが助成するとはいえ、贈呈式の際に相手に来ていただくことに違和感を抱いていました。現地の声を聞くことが大切なのは、組合活動にも共通するところですね。



事務局長  
磯田 孝友氏

「少しずつ活動のやり方を変えていく」とおっしゃっていましたが、これはとても大切だと思いました。贈呈式で現地を訪問し、一回で終わらずにその後も信頼関係を築いていくということは、労働運動の根幹にもつながってくると思います。このように少しずつでもやり方を変えていくということ、そこに、連合群馬や、磯田さんや吉田さんなどのご担当者の思いが反映されているのだと感じました。

## (2) 青年海外協力隊への支援

【磯田】 ほかに連合群馬独自といえる活動のひとつに、青年海外協力隊に群馬県産の食材を寄贈する取り組みがあります。取り組みを始めた経緯としては、当時青年海外協力隊に連合群馬の組合員が在籍していた関係で、全国に設置されている「(一社)協力隊を育てる会」の都道府県ごとの組織である「群馬県青年海外協力隊を育てる会」からお声がけいただいたことがきっかけでした。群馬県は小麦の産地でもありますので、群馬県産の小麦を使ったりうどんなどを寄贈しており、なるべく群馬県の地元の食材を届けるようにしています。

【吉田】 連合群馬独自の取り組みのようで、他県の海外協力隊からも「群馬はいいな」と言わ

れて盛り上がることもあるそうです。現在は隊員のなかに組合員はいないのですが、ずっと継続している取り組みです。帰国後に連合の加盟組織の組合員になってもらえたらという、オルグ的な要素も少し含まれていると思います。

— 社会連帯活動は、組合員に限らず、広く市民を対象に活動・支援などをおこなってい

くことが重要だと思います。その活動が結果的に組織化にもつながれば、運動にとってもよりよいことですよ。

### (3) 女性委員会による「サニードライブ」 (生理用品の寄付活動)

【吉田】女性委員会が担っている活動になりますが、「サニードライブ」も社会貢献活動の一

#### 寄贈実績

寄贈日	提供個数	寄贈先
2022/3/15	6,480	母子生活支援施設「のぞみの家」 母子生活支援施設「あすなろ寮」 母子生活支援施設「虹ヶ丘園」 NPO法人 きりゅう女性支援グループいぶき 公益法人 被害者支援センターすてっぷぐんま NPO法人エンパワメントぐんま
2022/10/5	1,440	公益社団法人 被害者支援センターすてっぷぐんま NPO法人 Mam's Style (ママズスタイル) NPO法人 きりゅう女性支援グループ いぶき 群馬県母子寡婦福祉協議会 女性とこどものためのぐんま支援センター 認定NPO法人 ひこばえ NPO法人 ラサーナ
2023/3/29	1,536	認定NPO法人ひこばえ NPO法人ラサーナ 母子寡婦福祉協議会 公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんま NPO法人きりゅう女性支援ネットワークいぶき ぐんま地域活動連絡協議会
2023/9/5	2,336	子どもワクワク食堂 (子どもワクワク食堂実行委員会/安中市) みんなdeごはん (NPO法人おたがいさま/玉村町) まんまる食事会 (社会福祉法人みどの福祉会/高崎市) まえばしこども食堂 (一社スリージェネレーションズ/前橋市)
2024/3/7	1,656	NPO法人ラサーナ 認定NPO法人ひこばえ NPO法人いぶき NPO法人ママズスタイル 公益社団法人すてっぷぐんま

(出所：群馬県男女共同参画センター)

環に位置づけることができます。コロナ禍で「生理の貧困」問題が顕在化する中、群馬県は2021年の5月から全ての県立学校などで生理用ナプキンの無償提供を始めました。これは、都道府県レベルでは群馬県が全国初でした。コロナ禍での雇い止めや家庭内暴力などで困難を抱える女性が増え、県が支援団体に聞き取りをしたところ、「生理用品が高いので家計への負担が大きい」「生理用品を含めて生活に必要な物が買づらい」という声が聞かれたということがわかりました。

この課題にたいして、女性委員会では構成組織や組合員への募金を検討しましたが、コロナ禍で活動が制限されていたこと、また、緊急を要していたことから、連合群馬の財源（一般会計予算）を活用して、県に生理用品を寄付するということを考えました。

この取り組みを「サニードライブ」(sanitary + sunny を掛け合わせた造語)と名付け、2022年から、県の男女共同参画センターをつうじて県内の学校公共施設、母子寮、児童福祉施設、その他女性支援をおこなうNPO法人などに寄贈しています。

— 寄贈先や実際に利用された方からの感想などは聞いておられますか？

【吉田】基本的に先述のセンターへの寄贈ですので、利用された方からの感想は直接聞くことはできませんが、いくつか活用事例をうかがっています。たとえば、「まえばしこども食堂」では、親子を対象にしたイベントで生理用品の無料配布がおこなわれたとのことでした。

— コロナ禍は落ち着いてはいますが、支援を必要としている方は今も少なくないと思

ます。サニードライブの今後の展開についてお聞かせください。



副事務局長  
吉田 香苗氏

【吉田】現状ではおもに生理用品の寄贈を継続していますが、他にもっと必要とされているものがないか、支援を必要としている当事者の声を聞く必要があると感じています。今後は、関係団体との意見交換をつうじて、必要に応じて取り組みや支援する物資の見直しをおこなっていきたいと考えています。

— 地方連合会がこのような活動に取り組む意義について、お考えをお聞かせください。

【吉田】格差が拡大しているなかで、政策提言をつうじて、政府や自治体（群馬では群馬県知事への提言）に対策を求めていくのが連合および地方連合会の第一の役割であり、これからも充実させていく必要があると考えています。地域の労働組合として行政と連携するなかで、起きている課題や状況をタイムリーに把握し、要望や対策を実行していくことが求められていると思います。

### 3. 今後の課題・展望

— 貴組織としての今後の展望や課題についてお聞かせください。

【磯田】労働組合のあり方としては、やはり一丁目一番地である「働く」ことに関してより力を入れていくことが重要だと感じています。社会貢献活動も私たちの役割のひとつと位置づ

け、活動を維持していきたいと思っています。そのなかで、サニードライブを始めるきっかけとなった生理の貧困など、時代ごとに直面する課題に対応していく必要がある一方で、組合員・組合役員数の減少で運営が厳しくなっていることも事実です。そのため、活動のスクラップ&ビルドをうまくやっていく必要があると考えています。全体の活動量は維持しつつも、それぞれの課題に対応できるような活動をしたいと思っています。

私は前期まで政策を担当していましたが、その時も、行政へ提言する「政策」をつくるうえで、課題に直面している団体の方の意見を直接聞くことが大切であると感じました。「愛のキャンパ」の贈呈式のやり方を変えたことにも通じる考えですが、政策実現に向けても各団体と一緒に行動することで、社会的なうねりをつくりだすこ

とができるという意味では、諸団体とのつながりをつくることはとても大切であると考えています。

市民団体との連携に関して、現時点では意見交換やセミナーの講師依頼などスポット的な連携はできているものの、その後も継続して協力し合えるような関係の構築は残念ながら不十分です。活動を維持していくと話しましたが、諸団体との連携については、「広く・深く」関係を構築できるよう仕組みを工夫していきたいと考えています。

#### 組織概要

構成組織：357 単組、8 地域協議会  
 組合員数：9 万 4000 人（2024 年 11 月時点）  
 結成：1989 年 12 月 23 日  
 URL <https://www.rengo-gunma.gr.jp/>

（インタビュー日：2024 年 7 月 19 日）

#### 「Discover 一地方連合会の連帯活動」 これまでの掲載一覧

回	掲載号	組織名	タイトル
第 1 回	2024 年 5/6 月号 (1140 号)	連合東京	労働組合と市民団体等が連携し、子どもの貧困に取り組む —子ども・若者支援プラットフォーム「HOPE」の挑戦
第 2 回	2024 年 7 月号 (1141 号)	連合神奈川	連合運動を継承していくために —連合寄付講座、SEYOTECA ネットなどの取り組みから
第 3 回	2024 年 8 月号 (1142 号)	連合千葉	連合運動を外に広げる取り組み —一人びとが多く集まるイベント等を通じて
第 4 回	2024 年 9 月号 (1143 号)	連合和歌山	地域貢献をめざすための新たな挑戦 —一人びとの居場所づくり、子ども食堂支援に向けた構想
第 5 回	2024 年 10 月号 (1144 号)	連合埼玉	「ネットワーク SAITAMA 21 運動」がめざす “共生の地域社会づくり”

このインタビュー連載は、2024 年 5/6 月号よりスタートしました。地方連合会の連帯活動は、組織（地域）ごとに特色があり、多様な活動が展開されています。この活動に光をあて、地域の運動がどのように紡がれてきたのか、また、これからどのように展開していくのか、インタビューをつうじて（再）発見できればと考えています。